

令和6年度外部評価会 集計表(農業者用)

所属名：大隅地域振興局 農政普及課

課題名④		産地を担う肉用牛経営体の育成				
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	6	1			
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	5	2			
活動体制・活動 方法	③関係機関とうまく連携して活動しているか	3	4			
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	4	3			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	3	4			
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	3	4			
活動の 波及性 と改善	⑦他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	2	5			
	⑧結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	2	5			
全体的な意見・提言等		・振興局、役場、JAが一体となって技術指導、経営指導をこれからもわかりやすく指導し、若い牛飼いが牛を飼育して良かったと思うような気持ちにさせてください。 ・牛農家が子牛価格低迷と飼料高騰で苦労している話をよく聞く、特に新規就農者は大変だと思うので技術指導をよろしくお願いします(土橋) ・吾平で経験したことを他のところに波及することは良いことだと思う(前田)				

令和6年度外部評価会 集計表(関係者用)

所属名: 大隅地域振興局 農政普及課

課題名④		産地を担う肉用牛経営体の育成				
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	7	1			
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	7	1		・今後10年を想定し規模に限らず、地域の核となる人材をどう想定するか検討してほしい ・肝属市場のあり方も分析してほしい	関係機関と連携し将来の核となる肉用牛人材の育成を図っている。また市場を含めた肉用牛基盤を維持していく取組を検討していく。
活動体制・活動 方法	③関係機関と連携して活動しているか	6	2		・体測の結果のみでなくもう少し具体の取組を説明し、他農家へどう普及するのかの視点でのまとめがあると参考になる。	子牛の商品性向上のために取り組んだ内容について説明が足りていなかった。取組の波及方法についても具体的に示していく。
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	3	5			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	4	4			
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	4	4		・少し農業者の声が見えにくいので経営的な評価も含めて整理してはどうか	・農家がどのような反応をしているか等、対象が見えるような内容に工夫する。 ・経営面に関しては、今後巡回指導の中でも支援していく予定である。
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか	1	7			
活動の 波及性と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	4	4		・体測の結果のみでなくもう少し具体の取組を説明し、他農家へどう普及するのかの視点でのまとめがあると参考になる。 ・なぜ成績が悪いのかももう少し掘り下げた分析がほしい。	個別農家毎の検討結果及び改善策が分かる説明をしていく。
	⑨結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	3	5			
全体的な意見・提言等		・個別農家ごとの取組区を行い支援内容も整理され成果をだしていることは良いと思う(鹿屋市農政課) ・普及活動としては確実に成果がでることは本町でも証明されている、担い手指導において最も良い活動だと思う、特に意欲向上に繋がっている、しっかり成果がでているので発表にも向いていると思う(肝付町畜産課) ・継続した技術指導をお願いする(JA鹿児島きもつき)				

産地を担う肉用牛 経営体の育成

畜産普及係



1

発表内容

- 現状と背景
- 取り組んだ内容
- 活動の成果
- 今後の課題



2

現状と背景

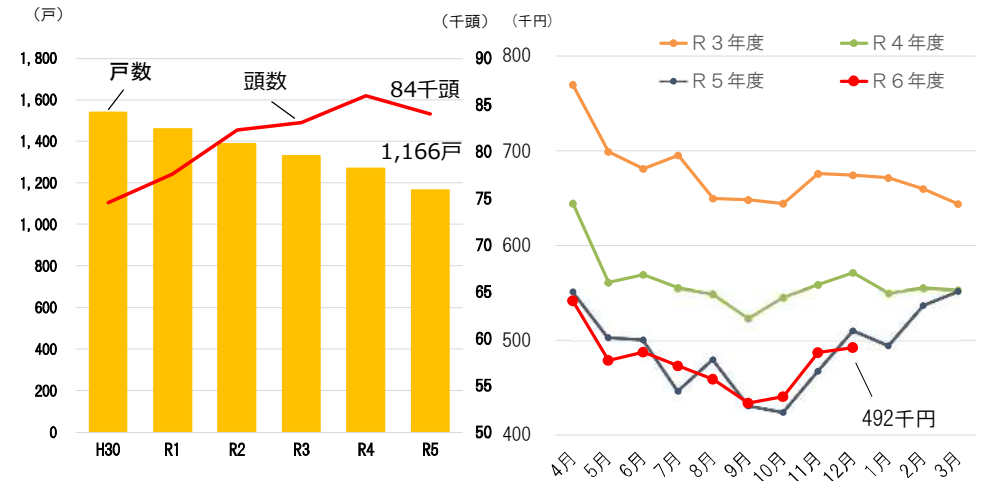


図1 肝属地域肉用牛農家戸数と飼養頭数の推移

図2 子牛セリ価格の推移
(肝属中央家畜市場・売却・めす・去勢)

3

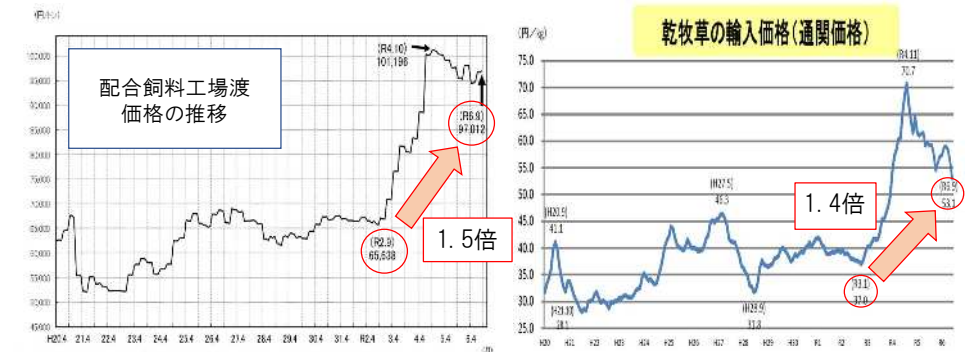


図3, 4 配合飼料, 輸入乾牧草価格の推移
(農林水産省「飼料をめぐる情勢」)

表1 肝属地域
肉用牛新規就農者数 (人)

R元	R2	R3	R4	R5
6	12	8	12	6

- ・高額な初期投資が必要
(牛舎, 繁殖雌牛等)
- ・基本技術習得の
ファローアップ

4

肝属地域肉用牛生産基盤の維持



産地を担う新規就農者の経営の早期安定



目標

新規就農者の基本技術の習得

P 課題整理



D 飼養管理技術指導
子牛体測



A 問題点の抽出



C 結果・考察



5

取り組んだ内容

新規就農者巡回指導の実施

対象

鹿屋市吾平町新規就農者（令和元年～4年就農）
4戸

体制

農政普及課
鹿屋市
JA肝付吾平町

期間

令和5年4月～
毎月実施

目的

基本技術の習得



6

取り組んだ内容

新規就農者巡回指導の実施

対象

鹿屋市吾平町新規就農者（令和元年～4年就農）
4戸

表2 令和5年子牛出荷成績

農家	性別	出荷頭数	体重(kg)	D G (kg/日)	子牛セリ価格 (千円)	肝属市場 平均価格比
A	めす	7	260	0.95	406	95%
	去勢	5	301	1.10	662	119%
B	めす	7	268	0.95	410	96%
	去勢	12	291	1.03	490	88%
C	めす	2	264	0.89	372	87%
	去勢	7	286	1.00	493	89%
D	めす	11	269	0.95	438	102%
	去勢	5	297	1.09	593	107%

7

巡回指導の目的「基本技術の習得」

巡回指導において

- ・子牛体測
- ・飼料給与指導
- ・繁殖成績の共有
- ・飼養環境指導
- ・出荷成績共有

等



対象農家の主な課題

A農家

増頭後、
子牛出荷成績
の維持

B農家

雌子牛の
離乳後
発育停滞

C農家

子牛の発育
母牛の栄養不足

D農家

母牛の個体管理
子牛事故

8

A農家

(頭)

課題

子牛出荷成績の維持

出荷頭数	R 5	R 6
めす	7	11
去勢	5	7
計	12	18

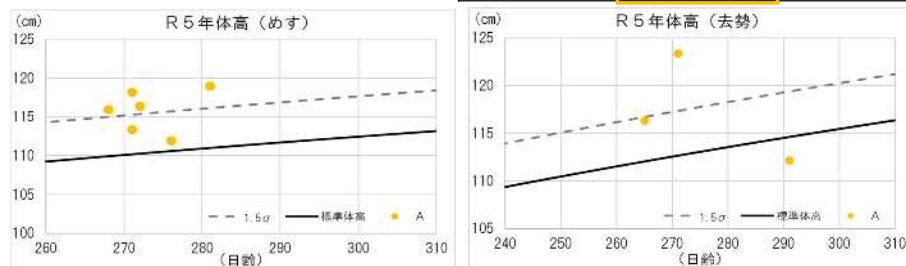


図5 令和5年出荷時体高（めす・去勢）

支援内容

- ・マニュアルに基づいた飼料給与指導
- ・毎月の体測により月齢に応じた発育状況の確認

9

B農家

課題

雌子牛の離乳後の発育停滞

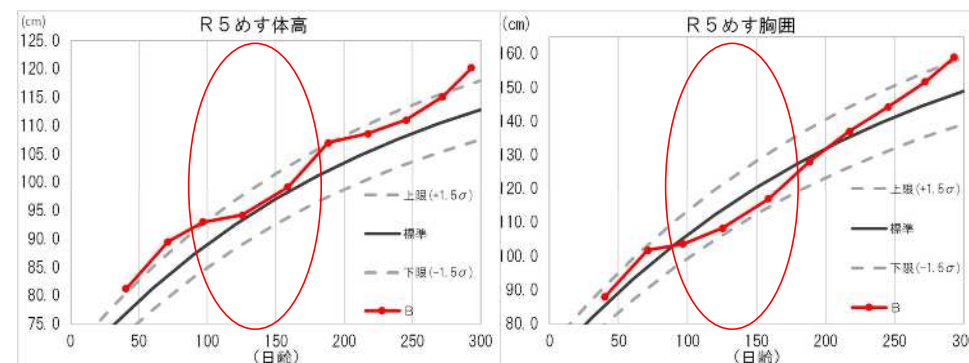


図7 R5年子牛の体測結果（めす）

支援内容

育成飼料への切り替え期間を長くする改善案を提示

11

A農家

(頭)

課題

子牛出荷成績の維持

出荷頭数	R 5	R 6
めす	7	11
去勢	5	7
計	12	18

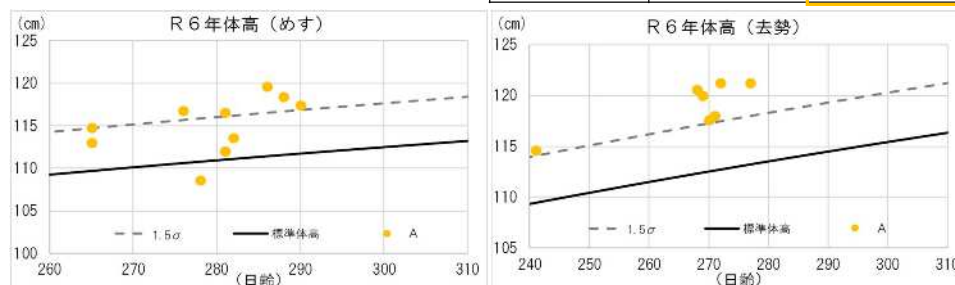


図6 令和6年出荷時体高（めす・去勢）

成果

子牛の発育良好

残る課題

子牛への自給粗飼料給与

10

B農家

課題

雌子牛の離乳後の発育停滞

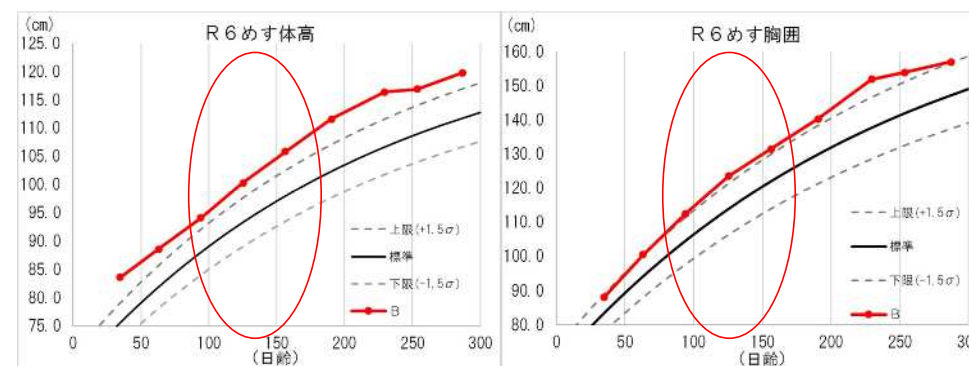


図8 R6年子牛の体測結果（めす）

成果

離乳後の発育が改善し発育良好

12

C農家

課題

出荷去勢子牛の发育改善

出荷時体重	体重(kg)	平均との差
R 5 年	286	▲13
R 6 年	280	▲19

支援内容

- ・マニュアルに基づいた飼料給与指導
- ・母牛の栄養度改善

成果 体高は改善

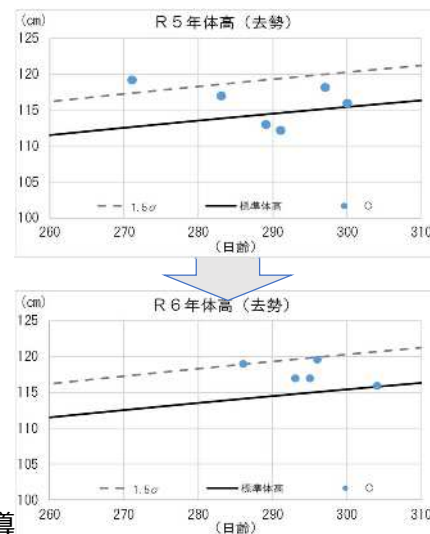


図9 出荷時体高（去勢）

残る課題

前期の发育改善

13

D農家

課題

個体管理（発情観察）

	初回種付日数 (平均)	初回種付まで 90日以上	子牛出荷率 (%)
R 5 年	99日	7頭	69.4
R 6 年	64日	3頭	76.0

支援内容

- ・分娩後の発情兆候の有無，授精状況の確認

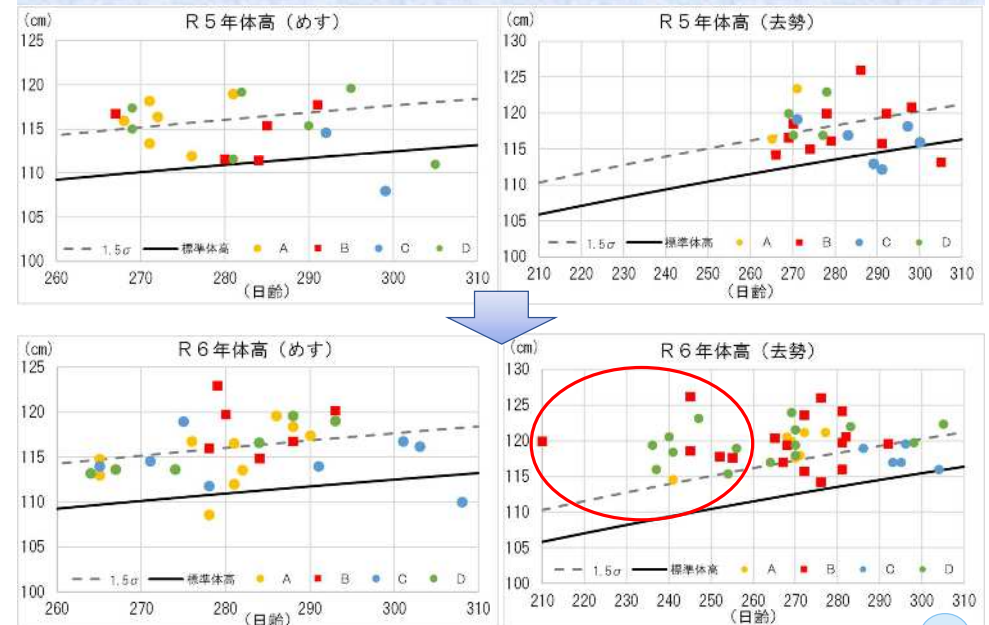
成果 初回種付日数の短縮

残る課題

子牛の事故

14

活動の成果（出荷時体高の比較）



15

表3 出荷成績比較（令和5年・令和6年）

農家	性別	令和5年出荷成績					令和6年出荷成績				
		出荷頭数	体重(kg)	DG(kg/日)	子牛セリ価格(千円)	肝属市場平均価格比	出荷頭数	体重(kg)	DG(kg/日)	子牛セリ価格(千円)	肝属市場平均価格比
A	めす	7	260	0.95	406	95%	11	276	0.99	467	110%
	去勢	5	301	1.10	662	119%	7	310	1.16	553	102%
B	めす	7	268	0.95	410	96%	8	309	1.14	537	126%
	去勢	12	291	1.03	490	88%	18	322	1.22	633	117%
C	めす	2	264	0.89	372	87%	9	267	0.92	379	89%
	去勢	7	286	1.00	493	89%	5	280	0.95	442	81%
D	めす	11	269	0.95	438	102%	5	299	1.06	540	127%
	去勢	5	297	1.09	593	107%	14	307	1.19	519	96%

B農家・・・基本技術

習得

A, C, D農家・・・継続支援

16

今後の課題

▶ 継続した基本技術の習得支援

▶ 償還財源の確保

- ↓ 良質な自給飼料の確保による
コスト低減
- 分娩間隔の短縮による
生産率の向上

▶ 他地区への波及

